

久留米工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	情報処理2	
科目基礎情報						
科目番号	4M04		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	材料システム工学科(2017年度以降入学生、但し、令和4年度は材料工学科を含む)		対象学年	4		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	配布プリント					
担当教員	周 致霆,中野 明					
到達目標						
1. Excel-VBAを使うことができる。 2. AIについて理解できる。 3. C言語の活用ができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	Excel-VBAを8割活用できる。		Excel-VBAを6割活用できる。		Excel-VBAを6割活用できない。	
評価項目2	AIについて理解が8割できる。		AIについて理解が6割できる。		AIについて理解が6割できない。	
評価項目3	C言語の活用が8割できる。		C言語の活用が6割できる。		C言語の活用が6割できない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	ネットワークを介した様々な技術情報の取捨選択のやり方や必要不可欠な技術データや実験データの抽出・加工・表現処理等の技術者として必要不可欠な情報処理活用法について学習する。					
授業の進め方・方法	配布プリントを活用した演習形式の授業を行う。 各自でUSBメモリ等の記録メディアを用意すること。 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと					
注意点	(1) 点数配分：中間試験50%、期末試験50% (2) 評価基準：到達目標に記載した項目の基礎的な内容と理解度とその基本的活用度を評価基準とする 60点以上を合格とする。 (3) 再試：再試を1回のみ行う。ただし当該科目のみ基準を満たしていない場合、再々試を行うことがある。また、レポートで代用することもある。					
授業の属性・履修上の区分						
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応		
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス (Excelの復習)	授業の進め方を理解できる。		
		2週	マクロとVBAの基本	マクロとVBAの基本を理解できる。		
		3週	ExcelのマクロとVBA	ExcelのマクロとVBAを理解できる。		
		4週	ExcelのマクロとVBA 2	ExcelのマクロとVBAを理解できる。		
		5週	Excel-VBAの基本的な記述	Excel-VBAの基本的な記述が理解できる。		
		6週	Excel-VBAの基本的な記述 2	Excel-VBAの基本的な記述が理解できる。		
		7週	Excel-VBAのセル操作と変数	Excel-VBAのセル操作と変数が使える。		
		8週	Excel-VBAプログラムの基本(制御文)	Excel-VBAプログラムの基本(制御文) が使える。		
	4thQ	9週	AI概要	AIについて理解できる。		
		10週	C言語の導入	C言語の導入について理解できる。		
		11週	C言語の導入 2	C言語の導入を用いて利用できる。		
		12週	C言語の基礎 1 (演習 1)	C言語の基礎を用いて利用できる。		
		13週	C言語の基礎 1 (演習 2)	C言語の基礎を用いて利用できる。		
		14週				
		15週				
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	材料系分野	情報処理	プログラムを実行するための手順を理解し、操作できる。	4	後10,後12,後13,後14,後15
				定数と変数を説明できる。	4	後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				演算子の種類と優先順位を理解し、適用できる。	4	
				算術演算および比較演算のプログラムを作成できる。	4	
				データを入力し、結果を出力するプログラムを作成できる。	4	
		条件判断プログラムを作成できる。	4	後12,後13,後14,後15		

				繰り返し処理プログラムを作成できる。	4	後10,後11,後12,後13,後14,後15
				一次元配列を使ったプログラムを作成できる。	4	

評価割合

	試験	レポート	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	50	0	0	0	0	0	50
専門的能力	50	0	0	0	0	0	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0